

来たれ、北大病院へ

Residents be ambitious!



北海道大学病院
医師臨床研修プログラム 2022

CONTENTS

病院情報	2
ごあいさつ	3
プログラムの紹介	4
研修内容	6
研修の特徴	7
専門研修(専攻医)へむけて／処遇・環境	10
採用試験について	11

病院情報

- 病床数：944 床
- 医師数：604 名
- 新規年間外来患者実数：128,096 人（令和 2 年度実績）
- 新規年間入院患者実数：13,250 人（令和 2 年度実績）
- 診療科：内科Ⅰ 内科Ⅱ 消化器内科 循環器内科 血液内科 腫瘍内科 消化器外科Ⅰ 消化器外科Ⅱ
循環器・呼吸器外科 整形外科 泌尿器科 麻酔科 形成外科 乳腺外科 救急科 脳神経内科
眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科 精神科神経科 脳神経外科 リハビリテーション科 産科 婦人科
小児科 放射線治療科 放射線診断科 核医学診療科 病理診断科 歯科
- 当プログラム研修医在籍数：38 名
1 年目：16 名 2 年目：22 名
うち北大病院で研修中：21 名

初期条件が医師の人生を左右します 北大病院研修プログラムは 豊かな医師人生のスタートを提供します

北海道大学病院長の秋田弘俊です。まず、資格を持った医師としての本格的な第一歩の場にこの北海道大学病院を検討していただいていることに感謝し、心から御礼申し上げます。また同時に、研修責任者の一人として、大きな責任を感じております。

医師研修は、確かな実技を習得し、その基盤となる医学の総合力を臨床で実際の患者さんの診察・診療が可能なレベルにまで高めることが第一の目標です。これは、継続的な生涯学習で達成されることですが、最初の数年間で形成される基礎はその医師の将来に大きく影響するものです。私自身、卒業直後の数年間で診た患者さん、教えを戴いた先生方、医療の本当の姿を教えてくれた医療関係者の皆さんのことを今でも鮮明に覚えており、その後の長い医師としての姿勢や生き方を決定づけました。

有名なローレンツの複雑系の考えでも、初期条件の微細な差が、その後の結果に大きな決定的な差を生みだすことが知られています。医療・医学は典型的な複雑系の科学ですが、皆さんの医師としての研修・成長も典型的な複雑系です。多様な診療科での実技研修、あるいは医療人・社会人としての人間形成、Mentor、同僚との出会い。こうした初期研修は、皆さん方の将来に決定的な影響を及ぼします。

北大病院の研修プログラムは、毎年進化しています。それは社会や他学と表面的に足並みを合わせるのではなく、北大の提供できる優れた環境を最大限に利用し、また、研修される先生方の個々の進路や希望に沿うように tailor-made に限りなく近いものに進化しております。言い換えると、常に改善すべき点を抱えております。皆さん方には、遠慮なく私達に研修をより良いものするための御意見をお寄せいただきたく思います。

また、様々な選択肢の中から大学病院を選択することの重み、あるいはその意義を是非、体感して戴きたいと思っております。私達もその期待に応えるように、一般病院とは一味違った研修を提供できると思っております。本院は、北海道大学という国内有数の教育・研究機関の主要な一員です。本院は、臨床研究中核病院、がんゲノム医療中核拠点病院、小児がん拠点病院、造血幹細胞移植推進拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、エイズ診療拠点病院、災害拠点病院などに指定されています。そこに求められるものは、丁寧な日常診療に加えて、①高度医療の提供と新治療法の開発②難病治療などの最後の砦としての機能など、地域や社会、あるいは国・世界からの高い期待に応えること、そして、③将来の医療を支える“人”を育成する役割です。

是非、皆さん方には、日々の実学研修は当然のことながら、初期研修の段階から北海道大学の建学の精神である高い志を持ち、また大成への第一歩を、この北海道大学病院での研修からスタートさせていただきたいと願っております。北大病院が、皆さん方の医師人生の最良のスタート地点となることを確信しております。



病院長
秋田 弘俊



臨床研修センター長・
副病院長
平野 聡

みんなで創り上げて欲しい ～最大限の力を発揮するための特別なステージを～

皆さんが医師として目指すゴールは何でしょうか。まだ、ようやく医師としてのスタートラインに着こうとするところですが、目を閉じてほんやりと将来の自分を思い浮かべてみてください。きっと、専門分野でバリバリと活躍する“プロフェッショナルな医師”としての自分がそこにいるのではないのでしょうか。

では、プロフェッショナルとして活躍するために必要な能力は何でしょう。もちろん、現場で実際の患者さんに対して適切な診断と治療を行う力としての「臨床能力」の重要性は言うまでもありません。実は、それと密接に関連したさらに 2 つの能力、すなわち、患者さんを治す最善の方法を探し出す力としての「研究能力」、さらに、自らの技術をより高度なものへと発展させる力としての「技術能力」が、プロフェッショナルには必須なのです。この「臨床・研究・技術」の 3 つの能力すべてを一定のレベルに引き上げることができれば、経験年数に関わらず（どんなに若くても）、立派なプロフェッショナルとして活躍できるのです。

実際、この 3 つの能力をどこで、どのスピードで身につけるかは初期研修の 2 年間で決まります。

たった 2 年間でありますが、過ごす環境と自分自身の心掛け次第で、同学年の研修医との間に驚くほどの格差が生まれます。市中の臨床研修病院はプライマリ・ケアの習得には好都合かもしれませんが、しかし、あくまでも“よくある疾患”の繰り返しですから、誰でもすぐに自信をもって向き合えるようになります。ところが、実際に困るのは“典型的でない”、“患者さんの条件が悪い”、あるいは“見たことも聞いたこともない”疾患の治療なのです。いわば、基礎問題ではなく応用問題が解けるかが問われるのです、このような疾患で困っている患者さんを救うためには、いわゆる一般的な「臨床能力」だけでは困難であり、それを土台にした「研究能力と技術能力」も身につけなくてはなりません、この 3 能力をバランスよく育成し、“応用問題が得意!!”の医師を養成するのが北海道大学病院のプログラムです。2 年間、百戦錬磨のプロ集団が貴方をしっかり指導して、“難問好きのスーパーレジデント”に育て上げてくれるでしょう。

北大病院の研修は、全国から集まった仲間と大所帯で過ごしながら、切磋琢磨してもらうのが特徴です。その中で、北海道大学に引き継がれる「フロンティア精神」のもと、研修医が自らの“研修のかたち”を創造していったほしいと願っています。私たちはそのような“lofty ambition”（高邁なる大志）を持つ研修医に最大限のサポートと活躍の場（ステージ）を提供します。

医師としての貴重な 2 年間、是非、北海道大学病院でスタートダッシュを切ってください。

プログラムの紹介

01 標準プログラム（定員32名）

令和4年度より
2コースに！

標準プログラムでは、個々のニーズに合わせたコースを用意しています。
マッチング発表後に希望コースの調整を行います。

エルムコース

2年間北大病院で研修するコースです。
地域医療研修のほかに、希望があれば他院での短期間の院外研修を組みこんで研修することもできます。
多くの研修医・指導医のいる環境で、将来の進路をじっくり考えることができます！

■ ローテーション一例

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
北大病院	脳神経内科	脳神経内科	腫瘍内科	腫瘍内科	小児科(神経)	循環器・呼吸器外科 (呼吸器外科)
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	産婦人科	協力病院にて院外研修(救急科)			内科Ⅱ (糖尿病・内分泌)	内科Ⅱ (糖尿病・内分泌)
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
北大病院	内科Ⅰ(呼吸器 (非腫瘍、肺循環))	内科Ⅰ(呼吸器 (非腫瘍、肺循環))	麻酔科	救急科	救急科	地域医療研修
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	地域医療研修	精神科神経科	放射線診断科	放射線診断科	超音波センター	超音波センター

エルムコースの おすすめ ポイントは？

- ◆ 短期間の院外研修を組み合わせ、複数の病院で研修できるのは魅力です！
- ◆ 志望科が決まっている場合は、2年目でじっくり研修できます！
- ◆ 興味のある分野を時間をかけて深く学べる点はとてもいいと思います！
- ◆ 多くの診療科から2年間の研修を組み立てられ、自分のオリジナルプランとして学べます！
- ◆ 学会発表などの機会があり、手厚い指導を受けられます！
- ◆ 国際的医療人育成プログラムを選択することができ、医療英語を身に付けられます！
- ◆ 引越をしなくて済むというのも、実は大事なポイントです！
- ◆ 教育熱心な指導医のもとで2年間研修できます！
- ◆ 市中病院に比べて手技は少ないけれど、積極的にいけばやらせてもらえることも多いです！



たすきコース

1年目は協力病院で、2年目は北大病院で研修する毎年人気のコースです。
医師1年目に多くのcommon diseaseを経験したうえで、2年目の研修に入ることができる点でも人気です。
3年目からの専門研修を見据えて、2年目に大学病院でじっくり研修できます。

■ ローテーション一例

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
協力病院	内科	内科	外科	麻酔科	小児科	精神科神経科
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科	内科	耳鼻咽喉科	産婦人科	救急科	救急科
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
北大病院	内科Ⅱ (糖尿病・内分泌)	内科Ⅱ(腎臓)	内科Ⅱ(膠原病)	放射線診断科	放射線診断科	小児科(血液)
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	地域医療研修		感染制御部 臨床研究開発センター 臨床遺伝子診療部	病理診断科	病理診断科	病理診断科



たすきコースの
おすすめ
ポイントは？

- ◆ たすき先病院1年間、大学病院1年間でバランスのとれた研修になります！
- ◆ たすき先では初診対応を多く経験できました！
- ◆ 全科当直ができたことは今後の力になると思います！
- ◆ 大学病院にない総合診療科で様々な症例にふれることができました！
- ◆ たすき先では、救急対応を自分で最初から最後（帰宅）までみることができ、適切なフィードバックも受けることができました！
- ◆ 医師の最初の1年にcommon diseaseを経験できるたすきがけ研修、2年目に大学病院でのアカデミックな研修というバランスが最高の魅力！
- ◆ 当直や当番対応を1年間かけて経験できるのは魅力です！
- ◆ 大学病院のプログラムでありながら、市中病院の忙しさを経験できる点や、1年目のたすき先でたくさん経験した手技を、2年目の地域医療などで生かすことができる点で、とてもいいコースだと思います。



02 実践産婦小児プログラム（定員4名）

1 年 目	北大病院または協力病院にて研修						
	8週		24週		4週	4週	12週
	産婦人科 または小児科		内科		外科	自由選択	救急科
2 年 目	北大病院または協力病院にて研修						
	4週	4週	4週	8週	20週		12週
	小児科	産婦人科	精神科	地域医療研修	自由選択		産婦人科または小児科

03 基礎研究医プログラム（定員1名）

令和4年度より
新設！

1年目	北大病院にて研修						
	4週	24週		4週	4週	4週	8週
	外科	内科		小児科	精神科 神経科	産婦人科	救急科
2年目	北大病院にて研修						
	4週	8週	12週	16週以上24週未満			
	麻酔科	地域医療研修 一般外来研修	自由選択	基礎研究期間 大学院博士課程または科目等履修生			

- ▶ 臨床研修2年目後半に基礎医学教室に所属
- ▶ 臨床研修修了後4年以内に基礎医学論文を作成
- ▶ 博士課程の授業料免除（科目等履修生の受講料免除）

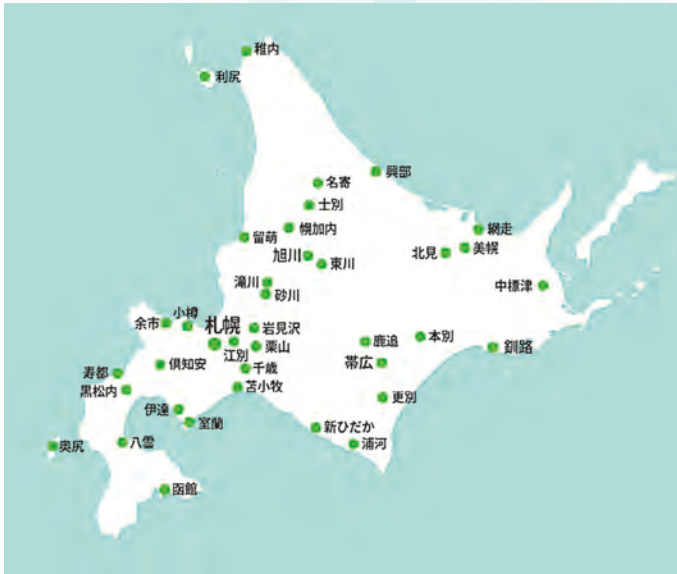
4/1応募開始
6/30応募メ切

研修内容

必修分野 (科名は当院準拠)	内科24週	【内科Ⅰ、内科Ⅱ、消化器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、脳神経内科】から選択
	救急12週	【救急科12週】もしくは【救急科8週＋麻酔科4週】
	外科4週	【消化器外科Ⅰ、消化器外科Ⅱ、循環器・呼吸器外科、乳腺外科、脳神経外科、泌尿器科】から選択
	産婦人科4週	
	小児科4週	
	精神科4週	
	一般外来研修4週	たすきがけ研修、地域医療研修、院外研修で研修（大学病院では研修不可）
	地域医療研修	2年目で研修
自由選択	自由選択	整形外科・形成外科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・リハビリテーション科・放射線治療科・放射線診断科・核医学診療科・病理診断科・臨床遺伝子診療部・超音波センター・感染制御部・臨床研究開発センター

研修の特徴

豊富な協力病院



当院の協力病院は全道に広がっており、どのコースでも豊富な選択肢から研修先を選ぶことができます。

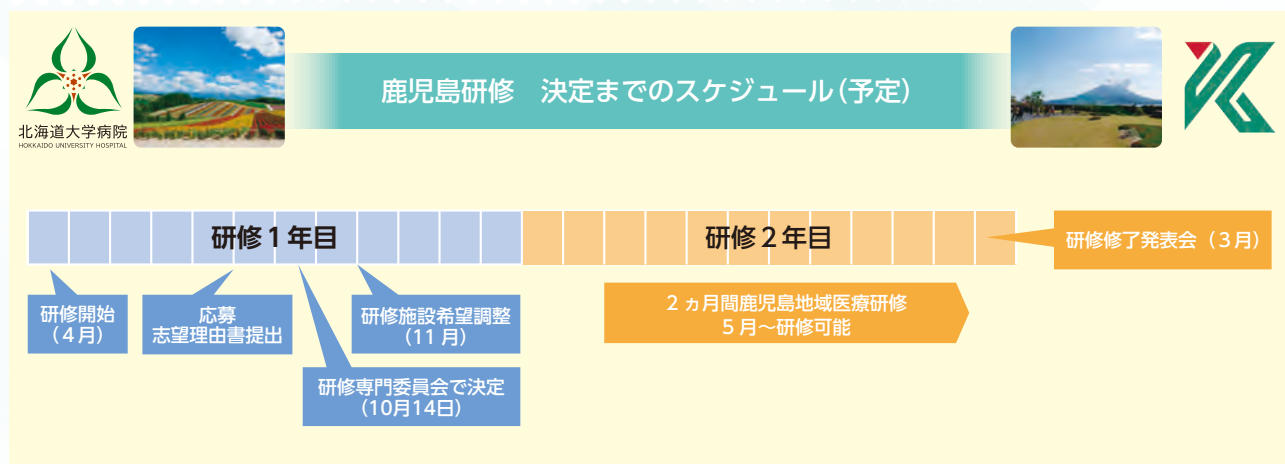
※令和3年4月1日時点での情報です。
詳細はお問い合わせください。

地域	病院名	たすきがけ	院外	地域医療	地域	病院名	たすきがけ	院外	地域医療
石狩	1 市立札幌病院	○	○		胆振	32 王子総合病院	○	○	
	2 NTT東日本札幌病院	○	○			33 苫小牧市立病院	○		
	3 斗南病院	○				34 製鉄記念室蘭病院	○	○	
	4 天使病院	○				35 日鋼記念病院	○		
	5 札幌東徳洲会病院	○				36 伊達赤十字病院	○	○	
	6 KKR札幌医療センター	○	○			37 市立函館病院	○		
	7 JCHO北海道病院	○			渡島	38 函館五稜郭病院	○		
	8 札幌北楡病院	○	○			39 国立病院機構 函館病院	○		
	9 札幌徳洲会病院	○	○			40 函館中央病院	○		
	10 JCHO札幌北辰病院	○	○			41 市立稚内病院	○		
	11 手稲溪仁会病院		※1		上川	42 利尻島国保中央病院			○
	12 札幌厚生病院	○				43 市立旭川病院	○	○	
	13 江別市立病院	○	○			44 旭川厚生病院	○		
	14 市立千歳市民病院	○	○			45 旭川赤十字病院	○		
	15 栄町ファミリークリニック			○		46 名寄市立総合病院	○		
	16 向陽台ファミリークリニック			○		47 土別市立病院			○
	17 札幌真駒内病院			○	釧路	48 国民健康保険東川町立診療所			○
	18 東札幌病院		※2			49 留萌市立病院			○
後志	19 北海道社会事業協会 小樽病院	○				50 北見赤十字病院	○	○	
	20 小樽市立病院	○				51 網走厚生病院	○		
	21 倶知安厚生病院			○		52 美幌町立国民健康保険病院			○
	22 寿都町立寿都診療所			○		53 釧路労災病院	○		
	23 黒松内町国保くろまつない プナの森診療所			○		54 市立釧路総合病院	○		
	24 北海道社会事業協会 余市病院			○	十勝	55 釧路赤十字病院	○		
空知	25 岩見沢市立総合病院	○				56 町立中標津病院			○
	26 北海道中央労災病院	○				57 帯広厚生病院	○	○	
	27 滝川市立病院	○				58 北海道社会事業協会 帯広病院	○	○	
	28 砂川市立病院	○				59 帯広第一病院	○		
	29 栗山赤十字病院			○		60 更別村国民健康保険診療所			○
檜山	30 八雲総合病院	○				61 本別町国民健康保険病院			○
	31 奥尻町国民健康保険病院			○					

※1：国際的医療人育成プログラム所属者のみ選択可能
※2：緩和ケアのみ、研修期間は日単位

■ 鹿児島地域医療研修

2016年度プログラムから、鹿児島大学病院との連携事業により、鹿児島県内の病院で地域医療研修ができるようになりました。鹿児島本土で1か月、離島で1か月の研修は、研修医時代の忘れられない時間となります。



鹿児島地域医療研修を終えて



サザン・リージョン病院
公立種子島病院

医療者も含めて、県民性や思考、文化の違いを経験できたことが何よりの報酬です。



恒心会おぐら病院
種子島医療センター

種子島では主に内科研修を行い、一般外来や救急外来の初療対応などを主に行っていました。研修医は即戦力と考えられており、やる気があれば多くのことを学ぶ事ができます。休日はサーフィンやゴルフをしたり宇宙センターに行ったりしていました。



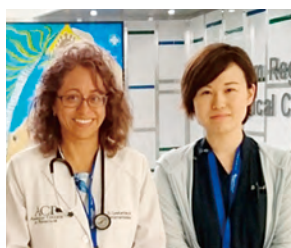
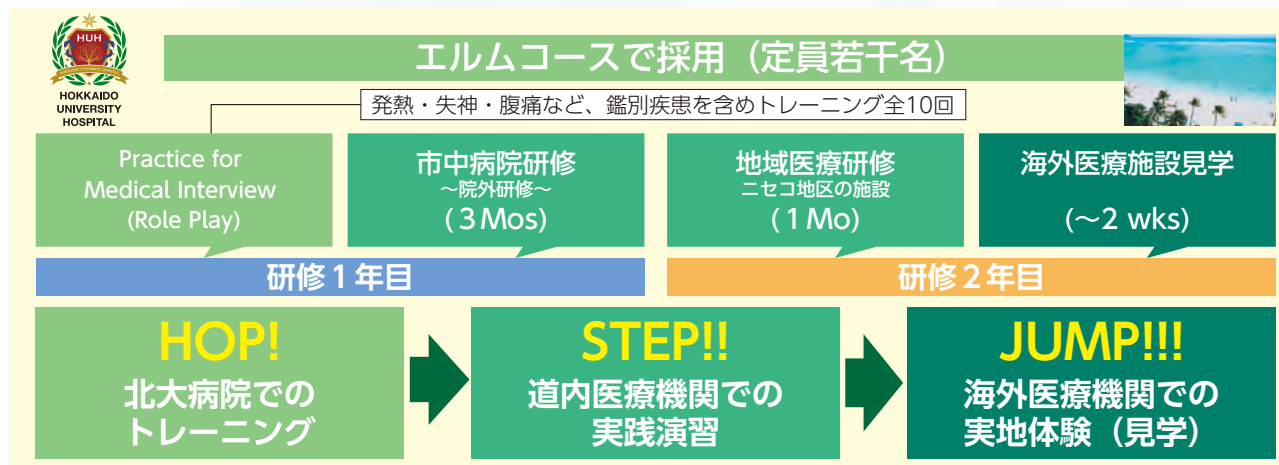
出水総合医療センター
公立種子島病院

マムシ咬傷や水俣病など普段見られない疾患を経験できたことは一つの収穫です。プログラム内容としても充実しており、初めての一般外来診療、在宅医療、へき地医療、医療資源の限られた中での離島医療など、多くの貴重な経験をさせて頂きました。

■ 国際的医療人育成プログラム

国際化に適応し能力を発揮できる医療人の育成は、当院が果たすべき重要なミッションの1つととらえ、2018年度より設置されたプログラムです。医療英語のロールプレイから海外医療機関の見学まで、国際的な環境の中で経験値を高める機会を提供しています。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現在、海外医療機関の見学は見合わせています。

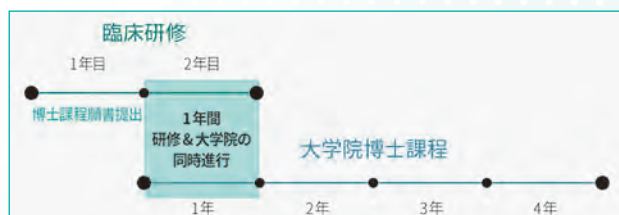


海外医療機関での見学を終えて

グアムの患者は本土とは様々な点で異なります。患者の病気への理解が不足しているケースも少なくなく、島国・離島のような状況なので高度医療へのアクセスが困難な事もあります。日本も例外ではありませんが、それでも大きな地域差なく医療へアクセスできるという利点はあると感じました。日本とグアムそれぞれの医療の長所短所を知ることができたのは貴重な経験です。

■ CLARCプログラム

CLARC (Clinic And Research Combination) プログラムは、臨床研修2年目に大学院に入学し、臨床研修と大学院での学習を並行して行えるプログラムです。あくまでも臨床研修を主体とし、平日の17時以降に大学院の講義・研究指導を受けます。



CLARCプログラムの詳細については、北海道大学医学系事務部総務課医学院教務担当までお問い合わせください。

Mail : d-tanto@med.hokudai.ac.jp



CLARCプログラム

学部生のときから病理学に強い関心があった私には、高い専門性を身につけながら博士の学位も早く取得できるCLARCプログラムはとても魅力的でした。1年目に製鉄記念室蘭病院、2年目に北大病院を中心に行った初期研修では多くの症例を経験し、各診療科と病理診断科とのつながりにも触れることができました。2年目からは大学院1年生も兼ねましたが、腫瘍病理学教室の田中教授をはじめ各研修先の指導医・スタッフの方々のご理解とご協力により無事修了することができました。臨床各科での体験は将来病理医となった後でもきっと生きてくると信じています。新年度から始まる本格的な研究と専門医研修により一層真摯に取り組みたいと思います。

専門研修（専攻医）へむけて

2018年度から新専門医制度が開始されました。当院では各分野の専門研修プログラムを用意しています。たすきコース、エルムコースどちらも2年目に大学病院での研修となりますので、サポート体制も万全です。多くの研修医が「専門研修を見据えて、2年目に大学病院で研修してよかった！」と口にしています。

新専門医制度

サブスペシャルティ領域

23
領域

- ・消化器病専門医
- ・循環器専門医
- ・呼吸器専門医
- ・血液専門医
- ・内分泌代謝科専門医
- ・糖尿病専門医
- ・腎臓専門医
- ・肝臓専門医
- ・アレルギー専門医
- ・感染症専門医
- ・老年病専門医
- ・神経内科専門医
- ・消化器外科専門医
- ・呼吸器外科専門医
- ・心臓血管外科専門医
- ・小児外科専門医
- ・リウマチ専門医
- ・消化器内視鏡専門医
- ・がん薬物療法専門医
- ・乳腺専門医
- ・内分泌外科専門医
- ・放射線治療専門医
- ・放射線診断専門医

基本領域

17
領域

- ・内科専門医
- ・小児科専門医
- ・皮膚科専門医
- ・精神科専門医
- ・外科専門医
- ・整形外科専門医
- ・産婦人科専門医
- ・眼科専門医
- ・耳鼻咽喉科専門医
- ・泌尿器科専門医
- ・脳神経外科専門医
- ・放射線科専門医
- ・麻酔科専門医
- ・病理専門医
- ・救急科専門医
- ・形成外科専門医
- ・リハビリテーション科専門医

処遇・環境

処遇

身分	契約職員（臨床研修医）
給与	9,075 円 / 日
研修医手当	5,000 円 / 日
賞与	なし
各種手当	通勤手当・退職手当・寒冷地手当あり （支給要件を満たす場合）
勤務時間	月曜日～金曜日 8：30～17：00（休憩 45 分）
年次有給休暇	10 日 / 年
年末年始休暇	12 月 29 日～1 月 3 日
特別休暇	あり（リフレッシュ休暇 3 日） （その他、忌引休暇・結婚休暇等）
社会保険	健康保険 / 厚生年金 / 労災保険 / 雇用保険あり
その他	自動車通勤不可 アルバイト診療禁止

研修環境

研修医控え室	個人用デスク・個人用メールボックス・wi-fi 完備・共用パソコン・複合プリンター・電子カルテ端末・アメニティ（冷蔵庫・電子レンジ・ウォーターサーバー）・談話スペース
シミュレーター	超音波・縫合セット 各種シミュレーターあり
電子コンテンツ	「DynaMed」 「今日の臨床サポート」 「ProceduresConsult」 「UpToDate」
院内施設	個人用ロッカー・仮眠室あり
保育施設	大学構内にあり
病後児保育室	病院内にあり
宿舎	単身用 / 男女入居可あり （定員 10 名） 単身用 / 女性入居可あり （定員 15 名）

病院見学

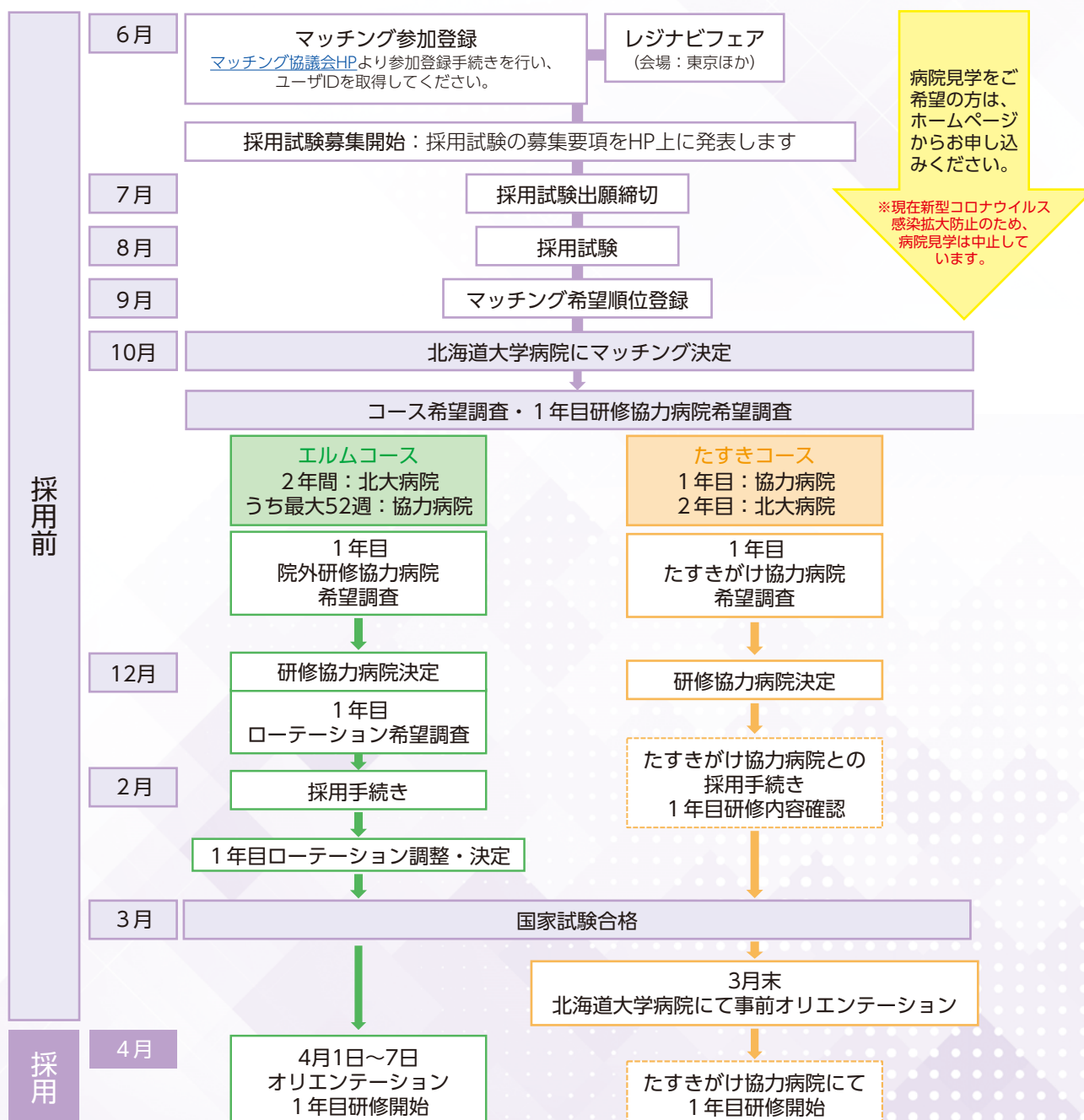
現在新型コロナウイルス感染拡大防止のため、病院見学の受付を停止しています。Web説明会を開催していますので、詳しくはホームページをご覧ください。

採用試験について

日 時	令和3年 8月21日（土） 9：30～15：00	
応募期間	6月1日（火）～7月16日（金） 必着	
応募方法	ホームページから申請書・受験票をダウンロードし、要項に従ってご応募ください 応募書類は「簡易書留」でお送りください http://clinical-training-center.huhp.hokudai.ac.jp	
試験内容	一般面接（10分程度）	
そ の 他	Web形式での面接試験を予定しております 詳しくは右記QRコードよりホームページをご確認ください	



採用までの流れ



Access



地下鉄南北線「北12条駅」より徒歩6分

JR「札幌駅」より徒歩15分



北海道大学病院

臨床研修センター

Clinical Training Center

〒060-0848 札幌市北区北14条西5丁目

Tel.011-706-7045/7050

Fax.011-706-7051

Mail.sotsugo@med.hokudai.ac.jp

<http://clinical-training-center.huhp.hokudai.ac.jp/>



～HPはこちらから～